



岩手リハビリテーション学院

〔学院長〕 足沢三之介

〔所在地〕 〒020 岩手県盛岡市長田町15-16

〔電 話〕 0196 (54) 2788

〔学 科〕 理学療法学科・作業療法学科

〔学生数〕 120名(各学科, 学年20名)

〔修業年限〕 3年(昼間)

〔入試倍率〕 昭和58年度

理学療法学科 8.1倍

作業療法学科 4.1倍

設立の主旨

東北、北海道、特に、岩手県におけるリハビリテーションの遅れには、はなはだしいものがある。中でも作業療法士・理学療法士の不足は、時代の流れに追いつけない実情にあり、ここにおいて、何を措いても、理学療法士・作業療法士の養成が急務であることを憂慮していた財団法人、岩手済生医会(三田俊定理事長)は、国・地方公共団体・岩手医科大学などの協力を得て、遂に昭和55年4月、岩手リハビリテーション学院の創設、開校に踏みきったのである。

昭和58年3月、第1回の卒業生を世に送り、危ぶまれた国家試験の合格率もPT, 95.83%・OT, 94.44%と、比較的良好な結果を納めることができたのである。

教育目標

本学院においては理学療法学科・作業療法学科を問わず、礼節、明朗、誠実、根性をモットーに、常に患者の立場にたって思考し、誠意をつくして治療訓練に当るよう、日頃の知識、技術を磨くと共に、人間として幅広く、奥深い、そしてたゆまざる探究心を持った人格を形成し、リハビリテーション医療が、チームワークによつ

て成り立つことを自覚しながら、他との協調をはかれるような人づくりを目標に学業を進めている。

以上のことを実践していくために学院の校歌が作られたのであるが、校歌を口ずさむことによって、卒業生は母校での思い出と、明日への活力を、そして学生は座右の銘として、機会ある毎にこの校歌を唱和している。

校歌

1. 母なる川よ 北上の
永久の流れの 清らかに
岸边に芽ぐむ ねこ柳
そのぬくもりの 学舎に
病める人等を すくうため
われら真理の 道を問う
2. 父なる山よ 厳鷲の
永久に秀づる その峰を
仰ぎて学ぶ 医の道を
誠もとめて われらまた
病める人等に 灯火を
力の限り 与うべし
3. 不来方城趾よ その北の
学びの庭に 吾れ立てば
岩手リハビリテーションの
礎えここに 定まりて
傷き萎えし かの人等
復帰の道に 誘なわん

学院が創設されて4年目を迎えたばかりであり、伝統と呼べるようなものも未だないが、今後は職員と学生ともども努力を重ね、より良い伝統の基礎をつくるよう邁進する覚悟である。

(理学療法学科 清水 宏一)

(作業療法学科 平賀 昭信)